

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010260

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	A		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業					
事業期間	平成25年度～平成29年度					
事業主体	雄武町					
事業指標	事務職員配置人数					
事業目標	1人					
住民参加	無					
住民協働	無					
			見直し年度			
			担当課	12 教育委員会教育振興課		
			関係課	#N/A		
			ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
			関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	へき地小学校への事務職員の配置	事務職員配置に係る調査実施	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置	事務職員の配置
	事業費(千円)	12,000	0	3,000	3,000	3,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	12,000		3,000	3,000	3,000	3,000
実 績 事 業 費	事業費(千円)	9,974	0	2,444	2,609	2,335
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	38		11	12	8	7
一般財源	9,936	0	2,433	2,597	2,327	2,579
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		巡回事務職員1人の配置 (幌内小学校)	巡回事務職員1人の配置 (幌内小学校)	巡回事務職員1人の配置 (豊丘小学校)	巡回事務職員1人の配置 (豊丘小学校)
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続無し)	年度目標値	1名	1名	1名	1名
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	81%	87%	78%
	全体達成率	0%	20%	42%	62%	83%
	備考欄					

事業名	へき地小学校巡回事務職員配置事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	新谷 朋人
		評価者 作成者 職氏名	教育総務係長	高橋 洋祐

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	へき地小学校	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	事務職員未配置校に対する配置	
【抱える課題やニーズは】	児童数の減少のため教職員の定数減により、小規模校への事務職員が未配置となる。	指標(指標計算式/解説)	指標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町費負担の事務職員を配置することにより、各教職員が職位に応じた業務を遂行できる。	① 事務職員配置人数	目標年度	平成29年度
			目標値	1人
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	適正な学校経営が図られる。	②	実績値	1人
			達成度	100.0%
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	各学校の状況把握	小中学校教職員の配置基準により、町内小中学校の教職員配置を把握し、巡回事務職員配置の判断をしています。		
	事務職員の配置決定	昨年度から引き続き、豊丘小学校に配置することができた。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	教頭職、事務職員等が未配置となる学校については、校長職をはじめ、教職員に負担が生じることとなり、本来の校務以外の負担の軽減を図るため、町が担う必要があると判断します。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	町費負担の事務職員を配置することにより、各教職員が職位に応じた業務の遂行を可能とする体制が整備されていると判断します。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	学校に配置するにあたりコストに見合った効果が得られたものと判断します。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	全小中学校に事務職員が配置されているため、公平性は確保されていると判断します。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
適正人材の配置となり、計画どおり事業が進んでおります。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
次年度以降の教職員の配置は未確定であります。今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止